



久遠塾

君の世界に芽生えるものは
vol. 18



かたおか あすか
片岡 明日香

10月28日【白糠の仕事人〜真田くんが帰ってきた！ on line〜】を開催しました。

真田さんは昨年、日本全国のさまざまな町を訪れて、それぞれの土地で活動をしていました。その町の一つが白糠町です。白糠町では、久遠塾の助っ人として生徒の学習をサポートしてくれた傍ら、白糠で働く人にスポットを当てた映像を制作してくれました。

取材をした方々は白糠の中でも業種はさまざまで、仕事上では関わることはなくても町の中ではつながっていて、その中に自分自身も少しずつ入り込んでいくようなそんな感覚で取材を進めていきました。おそらくパッと来ただけで

は分からないような白糠の魅力に、少しでも触れられたのではないかと感じていきます（当時の真田さんの感想）。

真田さんは今回、自分が経験したこと、そこから感じたことを話してくれました。その中で印象的だったのは「自分の身近にある環境によってとらえ方が変わる」というお話です。誰かに「白糠の〇〇いいよね」と言われても、同意できないことがあるかもしれない。同じ地域の中で生きていても「白糠のいいところは？」と聞く人、聞かれる人、それぞれ別の「白糠」がきつとある。今いる環境で、自分の中にある「白糠」を大事にしてほしい。白糠のどこが好きか、今の自分で考えてみてほしい。そんなお話でした。

やってみたら、できた。

8月に、オンラインで「長谷川くんの会」を開催した際、生徒から「真田さんの会も開きたいな」という声が上がりました（長谷川さんも昨年、久遠塾の助っ人をして



10月28日、東京大学大学院生の真田陽平さんをオンラインで講師に招き「白糠の仕事人」を開催しました。

てくれました）。

そしてその生徒は、真田さんの会の感想に「久しぶりに真田さんと話せて楽しかった！真田さんの会もやろうって言ってみて良かった！」と書いてくれました。

こうやって生徒から「あんなことやりたいな」「こんなこともできるんじゃないかな」というアイデアが生まれるのは、とってもすてきなことだと思います。いろいろなことに「おもしろそうだな」と興味関心をもてたら、そこから「やってみたいな」が増える気が

します。そして、どうやったらそれを形にできるか試行錯誤もしてほしいし、形にできた喜びも味わってほしいです。

言ってみたら、やってみたら、かなっちゃうこともできちゃうことも、実はたーくさんあると思います。

―その気になればね、砂漠に雪を降らすことだって、余裕でできるんですよ。―『砂漠』伊坂幸太郎

12月のゼミ（会場／公民館3階）

- しらせミ（高校生限定）
12月9日（水） 18:15～19:15
 - 地理っ子クラブ【タイ・ベトナム】（中・高生限定）
12月16日（水） 18:15～19:15
 - 美文字講座（全町民対象）
12月23日（水） ①18:15～19:15 ②19:30～20:30
- くおんじゅく
久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00～21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com
ブログ <https://kuon-juku.localinfo.jp.amebaownd.com>